

# 解決志向型ケーススタディ

## 多問題家族の事例検討会を通して学ぶ

解決志向アプローチは薬物・飲酒問題のある、経済的に厳しい、そして司法や行政から半強制的に通わされた人達を対象に生まれました。(シェイザー、バーグ) ASW 協会では以前よりこのアプローチに基づく事例検討会を開発し、支部研修会で実施、東日本大震災の支援者支援研修などにも活用してきました。今回はアディクション問題のある多問題家族を支援するにあたり、同じく解決志向アプローチを基底にして高齢者虐待家族支援のために研究・開発されたAAAアプローチ(副田ら)を採用し、従来のケーススタディをブラッシュアップしました。多問題家族に棲みつくアディクション事例の展開を学ぶと同時に解決志向アプローチの視点を学びましょう。

※終了後 ASW 関東支部例会を 17 時より開催します。ASW 会員の方はご参加ください。

開催日時

2020 年

2 月 1 日 土

13:30~16:30

場 所

日本福祉教育専門学校  
高田校舎

参加費

会 費 1,500 円  
非会員 3,000 円

定員  
40 名

ファシリテーター

山本 由紀 (遠藤嗜癖問題相談室)

高橋 陽介 (久里浜医療センター)

① 解決志向アプローチを活用した事例検討会とは(講義)

② 指定事例提供者による

多問題家族の事例検討会

うまくいっているなら治そうとするな

例外をさがせ

S F A  
Solution Focused Approach

それをどうやって成し遂げたのか尋ねよ

申込み先(申込用紙は裏面)

F A X 046-840-4118

久里浜医療センター 医療福祉相談室

メー ル

aswkochi@yahoo.co.jp

ASW協会東風の会

問い合わせTEL

久里浜医療センター 医療福祉相談室

046-840-4118

定員を超過し、ご参加できない場合のみご連絡します。